

報道関係各位
プレスリリース

平成29年3月6日発信
千代田区立日比谷図書文化館

躍動するクラシック

～心と体の鼓動から生まれた舞曲たち～（全2回）

－「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2017」を前に－

2005年の初開催以来、延べ726万人が熱狂した日本最大級のクラシック音楽祭、「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2017」が今年もゴールデンウィークに、東京国際フォーラムを中心とした大手町、丸の内、有楽町エリアで開催されます。今年のテーマは、「ラ・ダンス 舞曲の祭典」です。「日比谷カレッジ」では、クラシックの長い歴史の中で、ときには民族音楽の影響を受けながら斬新なリズムを生み出すなど重要な位置を占めている「舞曲（ダンス）」を2回にわたって解説、紹介すると共に、「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2017」の演奏曲も紹介し、音楽祭を存分に楽しむ秘訣をお伝えします。

講師

オヤマダアツシ（音楽ライター）

音楽誌を中心にインタビュー記事等を執筆するほか、コンサートの曲目解説を多数執筆。「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン（LFJ）」には2005年の初回より、クラシックソムリエとして参加。著書に『ロシア音楽はじめてブック』（LFJ2012公式本）ほか。



開催概要

- 日時：各回 19:00～20:30（18:30開場）
 - 第1回 4月5日（水） 「クラシック音楽を多様化させてきた多くの舞曲たち」
 - 第2回 4月12日（水） 「今年の「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」はリズムに満ちている」
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：各回200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：各回500円
- 主催：千代田区立日比谷図書文化館
- 協力：東京国際フォーラム、ラックスマン、フォステクス、ナクソス・ジャパン